



第46回 愛媛形成外科研修会

抄録集

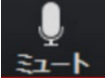

日 時 令和3年6月12日(土) 17時00分～
場 所 オンライン開催
ホスト：四国がんセンター 応接室

当番世話人

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 中岡 啓喜

第 46 回 愛媛形成外科研修会

研修会について

1. COVID-19 対策として、Zoom を利用した研修会になります。
2. 参加費の 2,000 円は、後日、指定口座へお振込みください。
 ※今回の特別講演は、日本形成外科学会の「領域講習」に認定されております。
 「領域講習」として受講される専門医の方は、受講料として 1,000 円を申し受けます。
 領域講習受講証明書は、入金確認後、事務局より送付いたします。
3. 入会手続きがお済みでない方は、事務局までご連絡ください。
4. 一般演題での発表時間は、一題あたり 5 分と 3 分、質疑応答は 3 分を予定しています。
5. 開催が近づきましたら愛媛形成外科研修会メーリングリスト (ehime_prs@umin.ac.jp) へ
 第 46 回愛媛形成外科研修会の招待メールを配信いたします。
 研究会当日は、配信された招待メールの URL より接続をお願いいたします。
 ・当日は、開催 15 分前からホストを立ち上げておきます。
 ・表示名は「施設名 お名前」でご参加をお願いいたします。 例：四がん 河村進
 ・発言時は、**on**  で発言いただき、発言終了後は **off**  に設定いただき、
 on と off を繰り返してください。
 ・発表時には、画面の共有からスライドを表示させ、発表を行ってください。



接続テストについて

- 6 月 10 日 (木) は、12 : 00 ~ 20 : 00 までオープンにした接続テストを行います。
- 接続テストの招待メールは、6 月 7 日 (月) に愛媛形成外科研修会メーリングリストに配信いたします。
- 必要な方は、上記時間に接続していただき、マイク、スピーカー、映像をご確認ください。
- ご質問等ありましたら、事務局 (sunano.yuki.wg@mail.hosp.go.jp) までご連絡ください。

会 歴

会 期	世 話 人	会 場	日 時	参加者
第 1 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	松山成人病センター	平成 10 年 7 月 4 日	15 名
第 2 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県医師会研修所	平成 10 年 12 月 5 日	17 名
第 3 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	松山成人病センター	平成 11 年 6 月 19 日	20 名
第 4 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 11 年 11 月 27 日	19 名
第 5 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 12 年 6 月 24 日	17 名
第 6 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成 12 年 12 月 9 日	20 名
第 7 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 13 年 6 月 23 日	23 名
第 8 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 13 年 12 月 8 日	23 名
第 9 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成 14 年 6 月 8 日	27 名
第 10 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 14 年 12 月 14 日	27 名
第 11 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 15 年 6 月 28 日	25 名
第 12 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成 15 年 12 月 13 日	25 名
第 13 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 16 年 6 月 26 日	26 名
第 14 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 16 年 12 月 4 日	29 名
第 15 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成 17 年 6 月 18 日	31 名
第 16 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 17 年 12 月 10 日	35 名
第 17 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 18 年 6 月 24 日	31 名
第 18 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成 18 年 12 月 9 日	26 名
第 19 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 19 年 6 月 16 日	37 名
第 20 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 19 年 12 月 15 日	30 名
第 21 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成 20 年 6 月 14 日	30 名
第 22 回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 20 年 12 月 6 日	30 名
第 23 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 21 年 6 月 27 日	32 名

会 期	世 話 人	会 場	日 時	参加者
第 24 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 21 年 12 月 12 日	28 名
第 25 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成 22 年 6 月 19 日	34 名
第 26 回	田中 伸二 (石川病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 22 年 12 月 11 日	30 名
第 27 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 23 年 6 月 18 日	31 名
第 28 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 23 年 11 月 26 日	25 名
第 29 回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	えひめ共済会館 4 階 未広	平成 24 年 6 月 23 日	34 名
第 30 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 24 年 12 月 1 日	26 名
第 31 回	田中 伸二 (HITO 病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 25 年 6 月 22 日	36 名
第 32 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	にぎたつ会館 2 階 楓の間	平成 25 年 11 月 30 日	30 名
第 33 回	安井 史明 (住友別子病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 26 年 6 月 21 日	32 名
第 34 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 新館カフアレス会議室	平成 26 年 11 月 29 日	32 名
第 35 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 27 年 6 月 27 日	36 名
第 36 回	田中 伸二 (HITO 病院 形成外科)	HITO 病院 3 階 大会議室	平成 27 年 11 月 21 日	27 名
第 37 回	手塚 敬 (松山市民病院 形成外科)	松山市民病院 2 階多目的ホール	平成 28 年 6 月 11 日	32 名
第 38 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 28 年 12 月 10 日	30 名
第 39 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 3 階中会議室①②	平成 29 年 6 月 24 日	36 名
第 40 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 本館 3 階研修室	平成 29 年 12 月 9 日	32 名
第 41 回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	松山赤十字病院 4 階多目的ホール	平成 30 年 6 月 9 日	27 名
第 42 回	田中 伸二 (HITO 病院 形成外科)	HITO 病院 3 階 大会議室	平成 30 年 12 月 1 日	28 名
第 43 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	令和元年 6 月 22 日	31 名
第 44 回	中川 浩志 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 管理棟 1 階 講堂	令和元年 12 月 7 日	37 名
第 45 回	安井 史明 (住友別子病院 形成外科)	オンライン開催	令和 2 年 12 月 12 日	28 名

プ ロ グ ラ ム

Section I (17:00~17:50)

座長：市立宇和島病院 村上 達郎 先生

1. 臀部に発症した良性対称性脂肪腫症の 1 例 (3分)
愛媛大学医学部附属病院 形成外科 泉本 真美子 他
2. 足背に生じた粘液脂肪腫の 1 例 (3分)
愛媛県立中央病院 形成外科・顎顔面外科 川浪 和子 他
3. switch flap による上眼瞼再建を行った左上眼瞼脂腺癌の 1 例 (5分)
四国がんセンター 形成・再建・皮膚腫瘍外科 中山 盛皓 他
4. 浸潤性乳房外パジェット病の 1 例 (5分)
四国がんセンター 形成・再建・皮膚腫瘍外科 山下 昌宏 他
5. 犬咬傷により非結核性抗酸菌症をきたした小児の 1 例 (5分)
松山赤十字病院 形成外科 阿古目 健志 他
6. 転倒後の帽状腱膜下血腫に対して治療を行った 1 例 (3分)
松山市民病院 形成外科 上村 由美子 他

Section II (17:50~18:30)

座長：愛媛大学医学部附属病院 上村 由美子 先生

7. 足底疣贅に対するナス貼付療法の報告 (5分)
済生会松山病院 形成外科 三宅 啓介
8. 虚血肢に生じた医原性足潰瘍の 3 例 (5分)
住友別子病院 形成外科 森本 崇文 他
9. 下顎区域切除・軟性再建時における長期的な咬合偏位防止のための工夫 (5分)
四国がんセンター 歯科 古川 康平 他
10. 乳房増大術後長期経過で異物肉芽腫を生じた 1 例 (5分)
愛媛大学医学部附属病院 形成外科 浅野 遥奈 他
11. 当院における AGA に対する発毛治療の経験 (3分)
HITO 病院 形成外科・美容外科 戸田 皓大 他

総会 (18:30~18:40)

休憩 (10分)

特別講演 (18:50~19:50)

座長：愛媛大学医学部附属病院 中岡 啓喜 先生

「顔面神経麻痺に対する患者個々に応じた治療戦略」

講師：大分大学医学部附属病院 形成外科 清水 史明 先生

共催： 松山形成外科医会 愛媛形成外科医会

Section I (17:00~17:50)

座長：市立宇和島病院 村上 達郎 先生

1. 臀部に発症した良性対称性脂肪腫症の 1 例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○泉本 真美子、松本 麻由、眞田 紗代子、戸澤 麻美

(3 分)

73 歳女性。20 年前から両側臀部の腫大を自覚しており 2~3 年前から急激に増大傾向となった。疼痛を伴うようになったため前医を受診した。生検で lipomatosis の診断であったため、当科へ紹介となり、部分切除を行った。臀部に発生した症例は稀であると考えられるため、報告する。

2. 足背に生じた粘液脂肪腫の 1 例

愛媛県立中央病院 形成外科・顎顔面外科

○川浪 和子、中川 浩志、石野 憲太郎、伊藤 綾美

(3 分)

脂肪腫の一部に、組織学的に他の間葉系成分を伴うことがある。今回われわれは、著明な粘液沈着を伴う脂肪腫である、粘液脂肪腫の 1 例を経験した。症例は 66 歳女性、10 年前より右足背の腫瘤を自覚し徐々に増大。MRI 検査で、脂肪成分からなる長径 49 mm の皮下腫瘤の内部に T1WI で低信号、T2WI で高信号の領域を認めた。摘出術を行い、病理検査で粘液脂肪腫の診断を得た。若干の文献的考察を加えて報告する。

3. switch flap による上眼瞼再建を行った左上眼瞼脂腺癌の 1 例

四国がんセンター 形成・再建・皮膚腫瘍外科

○中山 盛皓、河村 進、山下 昌宏

(5 分)

61 歳女性。2 年前に左上眼瞼結膜側の腫瘍を認めたため近医眼科を受診した。腫瘍切除術を施行されたが、同部皮下の腫瘍が増大したため前医を再受診した。生検で脂腺癌と診断され、当科へ紹介された。腫瘍摘出術と switch flap による上眼瞼再建術を施行した。脂腺癌と switch flap について若干の文献的考察を加え報告する。

4. 浸潤性乳房外パジェット病の 1 例

四国がんセンター 形成・再建・皮膚腫瘍外科

○山下 昌宏 河村 進 中山 盛皓

(5 分)

乳房外パジェット病は進行期においては治療が困難となる。症例は 65 歳女性。初診時外陰部に腫瘤とびらんを認め、術前画像所見では骨盤内リンパ節転移が疑われた。手術、放射線治療を行い、現在化学療法を行っている。乳房外パジェット病診療ガイドライン 2021 が作成されている。若干の文献的考察を加えて報告する。

5. 犬咬傷により非結核性抗酸菌症をきたした小児の 1 例

松山赤十字病院 形成外科

○阿古目 健志、庄野 佳孝

(5 分)

11 歳女性。3 ヶ月前に右手を犬に噛まれた。近医にて処置を受け創は治癒したが、手背の硬結が残存し当科紹介となった。MRI で精査したところ、皮下腫瘍あるいは膿瘍の疑いと診断され、全麻下に手術施行。皮切を加えたところ排膿を認め、培養結果より非結核性抗酸菌症の診断となった。本症例について、若干の文献考察を含めて報告する。

6. 転倒後の帽状腱膜下血腫に対して治療を行った 1 例

松山市民病院 形成外科

○上村 由美子、手塚 敬、木村 千寿

(3 分)

生後 8 か月男児。2 階の階段から転倒し頭部外傷を受傷。受傷後 3 日目に右前額部の腫脹を認め、当院小児科を受診し、CT 検査にて帽状腱膜下血腫を認めた。骨折、頭蓋内出血などは認めず、経過観察されていたが、血腫の増大を認め、受傷後 6 日目に当科受診。MRI 検査にて血腫の増大を認め、当科にて穿刺、圧迫処置を行った。若干の文献的考察を加え報告する。

Section II (17:50~18:30)

座長：愛媛大学医学部附属病院 上村 由美子 先生

7. 足底疣贅に対するナス貼付療法の報告

済生会松山病院 形成外科

○三宅啓介

(5分)

尋常性疣贅の治療の第一選択は液体窒素凍結療法が一般的である。その一方で手掌足底の疣贅はしばしば難治性である。また、治療に伴う疼痛も時に問題となる。今回治療に難渋していた疣贅に、ナス貼付療法を指導した症例を経験したので報告したい。

8. 虚血肢に生じた医原性足潰瘍の3例

住友別子病院 形成外科

○森本 崇文、安井 史明、阿部 なつみ

(5分)

2019年から2020年の間に当院で経験した、minorもしくはmajor amputationを要した医原性足潰瘍の3例を提示する。全て心疾患の治療中の患者であった。冠動脈疾患や脳血管障害と末梢動脈疾患は合併しやすく、スクリーニングや合併症予防が重要である。

9. 下顎区域切除・軟性再建時における長期的な咬合偏位防止のための工夫

四国がんセンター 歯科¹⁾、形成・再建・皮膚腫瘍外科²⁾

○古川 康平¹⁾、井上 裕貴¹⁾、河村 進²⁾

(5分)

頭頸部癌に対する拡大切除時に下顎区域切除が行われたものの、硬性再建ではなく軟性再建が選択された場合、歯牙が多く残存する症例では術後の咬合偏位による咀嚼障害を生じる。今回、頬粘膜癌に対して上顎部分切除・下顎区域切除および軟性再建が行われた症例に、術後の長期的な咬合関係を維持するために作成した口腔内装置を紹介する。

10. 乳房増大術後長期経過で異物肉芽腫を生じた1例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○浅野 遥奈、森 秀樹、川野 貴大、泉本 真美子、眞田 紗代子、松本 麻由、戸澤 麻美、
中岡 啓喜

(5分)

症例は46歳女性。10年前ヒアルロン酸注入による乳房増大術を受けた。乳房腫脹と疼痛、発熱を認めて前医受診し、CTで両側大胸筋下膿瘍を疑われた。当科初診時、両側乳房に2cm大の皮下硬結を認め、穿刺で淡黄白色の混濁した排液あり。細菌培養で菌検出なく無菌性膿瘍疑いで摘出術施行し、両側大胸筋下に被膜に包まれた異物を認めた。ヒアルロン酸注入後の合併症報告は多いが、長期経過後の報告は稀であるため報告する。

1 1. 当院における AGA に対する発毛治療の経験

HITO 病院 形成外科・美容外科

○戸田 皓大、中西 秀樹、田中 伸二、米田 武史

(3 分)

当院で行っている美容治療のなかで、AGA に対する発毛治療のひとつとしてフィナステリドとミノキシジルを併用した内服治療（商品名：ドクターズヘア）を行っている。2016 年度から 2020 年度までの 5 年間における治療経験について報告する。

総 会 （18：30～18：40）

1. 次回研修会の日程

2. その他

休 憩 （18：40～18：50）

特別講演 (18:50~19:50)

座長：愛媛大学医学部附属病院 中岡 啓喜 先生

「顔面神経麻痺に対する患者個々に応じた治療戦略」

講師：大分大学医学部附属病院 形成外科

清水 史明 先生

顔面神経麻痺の症状は患者個々により様々である。そのため、患者 QOL を高めるための治療戦略は、それぞれの症状や社会的背景などを考慮して、オーダーメイドで作成する必要がある。顔面神経麻痺の急性期では、保存的治療にて回復の見込みがない場合、なるべく早期に神経再建を軸とした動的再建を行う。その際は症例に応じて、神経の直接縫合や、神経移植を端々縫合や端側縫合を組み合わせて行う。その際に動力源となる神経の選択肢として、患側顔面神経、健側顔面神経、舌下神経、咬筋神経、副神経などがある。これらと縫合する顔面神経枝断端の選択肢と縫合法とで多くのバリエーションがあり、これらの中から患者個々の状態に応じて再建方針を決定する。陳旧性顔面神経麻痺の場合は、まず病態を、完全麻痺か不全麻痺かで分ける。その上で前頭部、上眼瞼、下眼瞼、頬部、口唇各部位それぞれに応じて、静的再建・動的再建などを組み合わせて治療法を決定する。時にボツリヌストキシン局注も併用する。これら顔面神経麻痺に対する患者さん個々に応じた形成外科的治療戦略作成の考え方についての詳細を概説する。また、その治療戦略の歴史・変遷についても概説する。

略 歴

【現職】

大分大学医学部附属病院 形成外科 診療教授

【職歴】

平成 11 年 熊本大学医学部医学科 卒業
平成 11 年 大分医科大学付属病院 皮膚科形成外科診療班 研修医
平成 14 年 大分医科大学付属病院 皮膚科形成外科 助手
平成 15 年 大分大学付属病院 形成外科 助手
平成 17 年 台湾長庚記念病院形成外科 留学
平成 24 年 大分大学医学部附属病院 形成外科 講師
平成 25 年 大分大学医学部附属病院 形成外科 准教授
平成 29 年 大分大学医学部附属病院 形成外科 診療教授

日本形成外科学会専門医 日本創傷外科学会専門医など

理事

日本形成外科手術手技学会 日本癬痕ケロイド研究会

評議員

日本形成外科学会 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 日本顔面神経学会
日本褥瘡学会 日本創傷外科学会 日本頭蓋顎顔面外科学会 日本末梢神経学会

学会員

日本皮膚悪性腫瘍学会 日本頭蓋顎顔面外科学会 日本マイクロサージャリー学会
日本手の外科学会 会員など

専門

マイクロサージャリー
創傷治癒
ケロイド